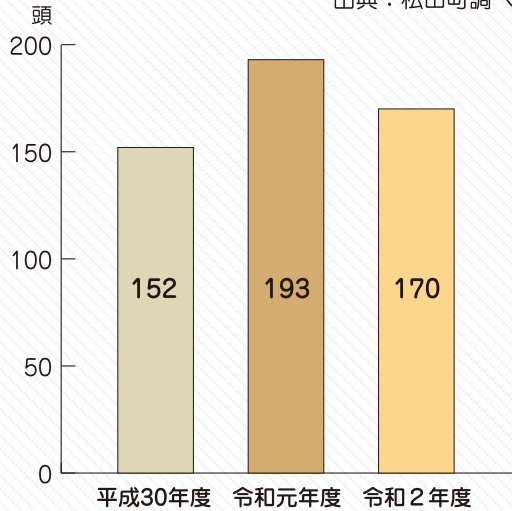




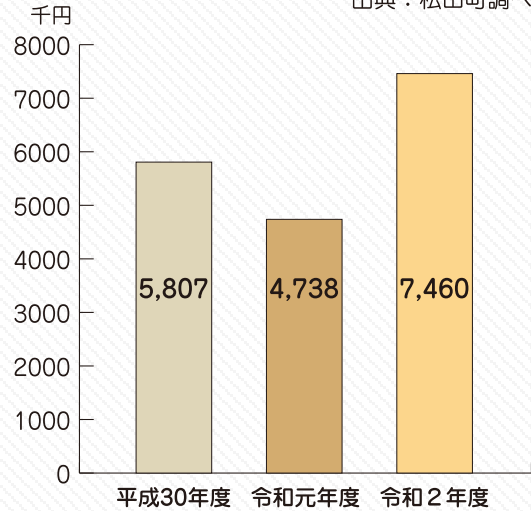
イノシシ・シカ年間捕獲頭数

出典：松田町調べ



野生鳥獣による農作物被害額

出典：松田町調べ



た畑の野菜や果物などのおいしいエサを得られるようになったので、耕作放棄地となった場所が、彼らのエサ場となつてしまったのです。年々、耕作放棄地は増えていき、エサ場も広がっていく。エサ場が広がることで、その近くの畑の農作物をエサにし、また活動範囲が広がるという悪循環になります。

最近では、こうした状況が増えることで農家さんが自分の畑で農作業をしているときにシカやイノシシと遭遇し、追いかけてまわされるということもあるそうです。

シカやイノシシは、本来臆病ですが、ばったり会うと襲ってきます。しかし、鈴などの金属音やラジオの音など、自然界にない音があると彼らの方から逃げていきます。

わなにかかったシカやイノシシは電気止めさしや銃で仕留めますが、人間が本来のすみかを奪ったという事情もあるので、仕留めるときは「ごめんね。」という気持ちです。

ハンターの今後

高齢化により全国的に猟友会の人数は減少し、担い手不足は、深刻です。

猟友会では、ハンターになる方にさまざまなサポートをしています。わなの設置方法やイノシシなどがよく来るポイントの紹介などを行っています。また、絶対に事故が起らないように指導を徹底し、私たちの経験や知識を伝えていきます。

男性がほとんどを占める猟友会ですが、松田町には女性のハンターもいます。女性や体力に自信のない方でもご安心ください。ぜひ、ハンターとして私たちと一緒に活躍してみませんか。

狩りに出た時の、山の尾根から見渡す景色は素晴らしい、活動後に食べるおにぎりも最高のごちそうであり、楽しみのひとつです。

町民の皆さんにも私たちの活動を知っていただき、一緒に活動していただけると嬉しです。



猟友会松田支部



猟友会寄支部